

**函館市医療・介護連携推進協議会**  
**多職種連携研修作業部会 第20回会議**

日時：令和6年9月3日（火）19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

**【次 第】**

1 開 会

2 議 事

○報告事項

1. 令和6年度 多職種連携研修計画 進捗状況（資料1, 2）
2. 研修情報の一元化と提供について（資料3）

○協議事項

1. 研修情報一元化と提供に関する規定（一部改訂）について（資料4, 5）
2. 第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会について（資料6, 7, 8, 9）
  - ・グループワークの進め方

3 その他

4 閉 会

**【配付資料】**

資料1：報告事項

資料2：令和6年度 多職種連携研修実績および予定表

資料3：ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和6年4月～令和6年8月）

資料4：研修情報一元化と提供に関する規定（案）

資料5：研修情報の一元化の取組と情報提供のご協力をお願いについて

資料6：研修概要書（案）（第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会）

資料7：タイムテーブル（案）

資料8：役割・個人ワーク・グループワークの流れについて（案）

資料9：個人ワーク・グループワークについて

**函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会**  
**第20回会議 出席者名簿**

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分 野	所属団体	氏 名	勤務先等
	公益社団法人 函館市医師会	○幹事 花輪 拓哉	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	川村 曜補	カワムラ歯科クリニック
	一般社団法人 函館薬剤師会	水越 英通 ※欠席	(株)はこだて調剤薬局昭和店
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	鹿角 悼司 ※欠席	特定医療法人 富田病院
	道南在宅ケア研究会	★副部会長 川口 篤也	医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院
	函館地域医療連携実務者協議会	橋浦 大希	函館五稜郭病院
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	★部会長 阿部 綾子	医療法人社団 函館脳神経外科病院
	北海道柔道整復師会函館ブロック	室田 多哉	室田整骨院
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	益井 基	益井東洋治療院
介 護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	宮城 智美 ※欠席	居宅介護支援事業所 医療法人社団 函館脳神経外科病院
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	山上 雄大	社会医療法人仁生会 訪問リハビリテーション西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	白川 直子	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 在宅療養支援室 訪問看護係
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

## ○報告事項

## 1. 令和6年度 多職種連携研修計画 進捗状況（資料2）

## （1）相互理解の促進

## ①医療関係者向け研修

共催：ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター

日時・場所・参加人数：

①令和6年6月19日（水）17：30～18：30 参加人数：85名

函館脳神経外科病院

②令和6年8月29日（木）17：30～18：30 参加人数：68名

函館中央病院

③令和7年2月頃予定

函館市医師会病院

テーマ：「退院後、施設でどのような生活をしているか知っていますか？」

対象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者

講師：特別養護老人ホーム百楽園 主任相談員 高木 健太郎 様

サービス付き高齢者向け住宅 サンライズ函館 施設長 鈴木 文香 様

## ②介護関係者向け研修

共催：ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター

日時・場所・参加人数：

①令和6年6月13日（木）18：30～19：30 参加人数：120名

②令和6年8月30日（金）18：30～19：30 参加人数：70名

①，②共に函館競輪場

③令和7年2月18日（火）19：00～20：00

北斗市農業振興センター

テーマ：「急性期病院の事情について ～思いやりのある連携～」

対象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者

講師：市立函館病院 入退院支援課 入退院支援係長 熊倉 慎治 様

函館脳神経外科病院 医療相談室 主任 阿部 綾子 様

## ③オープンカンファレンス

共催：函館市医師会病院

日時：令和6年6月27日（木）18：30～19：45

場所：函館市医師会病院

対象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者

進行役：函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生

登壇者：医師・看護師・言語聴覚士・医療相談員・施設相談員

内 容：特養から2次救急病院へ搬送された高齢者の事例

参加人数：111名

#### ④研修会等コーディネート

各関係団体窓口一覧の更新 令和6年8月16日更新内容掲載済み

### (2) 連携強化

#### ①看取り&連携強化

第9回函館市医療・介護連携多職種研修会

日 時：令和6年10月19日（土）14：00～17：00 ※予定

場 所：函館国際ホテル

テーマ：「地域でつなげようACPの輪 ～この地域でのACP連携を目指して～」

目 的：その方らしい生き方を実現していくため、加齢や疾病による影響から心身の状態が変化していく本人の不安や葛藤などに寄り添い、もしもの時に本人の想いを見逃さないように、支援に関わる一人ひとりが意識していけることを目的とする。

対 象：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者

座 長：北美原クリニック 岡田 晋吾 先生

内 容：・講演

【ACPとは】

函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生

【もしもノートについて】

市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎 裕 先生

【はこだて医療・介護連携サマリーと併せた活用法・事例】

訪問看護ステーションフレンズ 統括所長 保坂 明美 様

・グループワーク

（進行）函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽 様

・意見交換・質疑応答

（座長）北美原クリニック 岡田 晋吾 先生

定 員：300名（グループワーク参加240名，聴講席60名）

#### ③入退院支援

（ア）入退院支援連携強化研修会（ガイド編）

日 時：令和6年11月15日（金）18：30～20：00 ※予定

場 所：函館市医師会病院

テーマ：関わっているその人のイメージの共有，ズレているかも？

～病院・在宅間のズレないイメージの情報共有とは～

内 容：①イメージのズレを考える

発表者～北海道 MSW 協会南支部 医療相談員 岩城 朋美 様

## ②グループワーク

発表を受けて、普段の日常業務でのイメージのズレはなぜ起こるのか？ズレる事での困り事についてを話し合い、今後に向けてグループ内でディスカッションする。

対 象：医療関係（MSW，入退院支援看護師，病棟看護師，リハビリスタッフなど）  
在宅関係（包括職員，居宅ケアマネジャー，訪問看護師，リハビリスタッフなど）  
施設関係（施設相談員，施設ケアマネジャー，介護職員，リハビリスタッフなど）  
薬剤師，歯科衛生士等

定 員：40名程度

## ④急変時対応

令和6年函館市医療・介護連携「急変時対応研修会」

日 時：令和7年2月 ※予定

場 所：未定

## (3) 多職種連携の専門性の向上

・令和6年7月17日（水）

東央部第2圏域ケアマネ懇談会

## (4) 人材育成

センター主催研修会への見学参加（各医療・介護系の学校への案内）

## 2. センターホームページ「コラム」の掲載について

○「医療・介護連携マップで検索できる各機関の機能」について

2～3ヶ月毎にコラム掲載中

・7月4日掲載「通所介護」

デイサービスセンターながだい 代表 工藤 晃士 様

・9月掲載予定「小規模多機能ホームについて」

小規模多機能ホームアニー 渡部 良仁 様

## 【令和6年度 多職種連携研修計画実績および予定表】

目的（テーマ）および内容	形式				主催/共催	定員	参加者数	時期（実施日時）
	規模（会場）	形態	対象者	レベル				
（1）相互理解の促進								
①医療関係者向け研修 「退院後、施設でどのような生活をしているか知っていますか？」 講師：特別養護老人ホーム百楽園 主任支援相談員 高木 健太郎様 サービス付き高齢者向け住宅 サンライズ函館 施設長 鈴木 文香様	中規模 (函館脳神経外科病院) (函館中央病院) (函館市医師会病院)	座学講義	医療・介護関係者	初級～中級	ほ・なセンターと共催	80名程度 120名程度 80名程度	85名 68名	6月19日（水）（終了） 8月29日（木）（終了） R7年2月頃予定
②介護関係者向け研修 「急性期病院の事情について～思いやりのある連携～」 講師：市立函館病院 入退院支援課 入退院支援係長 熊倉 慎治様 函館脳神経外科病院 医療相談室 主任 阿部 綾子様	中規模 (函館競輪場)	座学講義	医療・介護関係者	初級～中級	ほ・なセンターと共催	100名程度	120名 70名	6月13日（木）（終了） 8月30日（金）（終了） R7年2月18日（火）予定
③オープンカンファレンス	中規模 (函館市医師会病院)	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	函館市医師会病院と共催	100名程度	111名	6月27日（木）（終了） 11月7日（木）予定
④研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認	—	—	—	—		—		8月16日（金） 更新済み
（2）連携強化								
②看取り&連携強化 ・第9回函館市医療・介護連携多職種研修会 「『地域でつなげようACPの輪』～この地域でのACP連携を目指して～」	大規模 (国際ホテル)	対話体験型 (シンポジウム・GW)	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	300名程度		10月19日（土）予定
③入退院支援 (ア) 「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（退院支援分科会主催） 「関わっているその人のイメージ、スレているかも？ ～病院・在宅・施設間のスレないイメージの情報共有とは～」	小規模 (函館市医師会病院)	対話体験型 (GW)	医療・介護関係者	中級～上級	主催	40名程度		11月15日（金）予定
④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 「令和6年函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』」	中規模 (函館競輪場)	対話体験型 (シンポジウム・GW)	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	100名程度		R7年2月予定
（3）多職種連携の専門性の向上								
東央部第2圏域ケアマネ懇談会 「地域みんなでご本人の思いをつなぐ」～ACPツールもしもノートはこたて人生会議説明書～	小規模 (包括支援センターたかおか)	講師：センター職員	介護関係者	設定なし	出張講座	20名程度	13名	7月17日（水）（終了）
（4）人材育成								
センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生  (教員)	未経験者		数名		随時

※ 新型コロナウイルスの状況等により、研修会の中止および開催時期、方法等が変更となる場合があります。

## ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和6年4月～令和6年8月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月		0件
5月		0件
6月	令和6年度第1回講演会 「総合診療医に聞きたいあれこれ ～地域医療の中でわたしたちができること～」R6年6月22日開催 （函館鍼灸マッサージ師連絡協議会主催） 「函館市医師会 在宅医療医会 令和6年度総会および第4回研修会」R6年7月24日開催 （函館市医師会在宅医療医会主催） 「フェムテックを学ぼう」R6年7月24日開催 （北海道柔道整復師会 函館ブロック主催）	3件
7月	2024年度 保健師職能集会（道南南支部） 「ひきこもり状態にある方への支援の実際」R6年8月31日開催 （北海道看護協会道南南支部主催） 第27回道南摂食嚥下研修会 「『美味しくご飯が食べたい』～自分で食べて頂くための取り組み～」 R6年7月30日開催 （道南摂食嚥下研究会主催） 精神疾患を抱える方の家族のための第1回家族支援ネットワーク学習会 「家族のコミュニケーションを考える」R6年8月3日開催 （北海道精神保健福祉士協会道南ブロック主催） 「令和6年度 在宅医療・介護連携に関する意見交換会」R6年9月7日開催 （北海道渡島総合振興局保健環境部保健行政室（渡島保健所）主催）	4件
8月	こども子育て支援室3周年記念講演会 「うそをつく、文句ばかり言う、暴言・暴力、怠惰・無気力～トラウマの視点で子どもたち を捉えなおし、あたたかい地域をつくろう～」R6年9月5日開催 （函館中央病院 総合医療支援センター こども子育て支援室主催） 道南在宅ケア研究会 スピンオフ企画研修会 「セルフケア革命-あなたの心と体を守る実践法-」R6年9月13日開催 （道南在宅ケア研究会主催） 「函館緩和ケアセミナー」R6年9月20日開催 （函館五稜郭病院緩和ケアチーム主催） 第10回ICNJ北海道支部道南ブロック研修会 「『すぐそこにある災害』～生きる術をここ道南から考える～」R6年11月2日開催 （日本感染管理ネットワーク北海道支部主催）	4件
合 計		11件

(その他)

函館市医療・介護連携支援センター主催 0件

ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催 1件

各団体との共催 2件

函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催 5件

## 【 研修情報一元化と提供に関する規定 】 (案)

函館市医療・介護連携支援センターでは、医療・介護関連の研修会を実施しているさまざまな機関や団体の研修情報を一元的に集約し、**函館市・北斗市・七飯町**の医療・介護関係者が必要な研修情報を入手できるようホームページ上で公開しております。

### 《目的》

- 研修会の周知と参集のため。
- 他機関や団体が企画する研修会の開催日時や内容等が重複しないため。

### 《掲載の条件》

#### 以下の条件をすべて満たす事

- **函館市・北斗市・七飯町**の医療・介護関係者が所属している機関・団体等が主催または共催の研修会であること。
- **函館市・北斗市・七飯町**の医療・介護関係者が対象となる研修会であること。
- 公益性があり、営利目的ではない研修会であること。
- 函館市医療・介護連携推進協議会に参加している団体からの推薦がある研修会であること。

### ●改訂内容

- ・ 本規定内の「**函館市内**」の文言を「**函館市・北斗市・七飯町**」に変更。



## 研修情報の一元化の取組と情報提供のご協力をお願いについて

函館市医療・介護連携支援センターのホームページ上で、各団体の研修情報を一元化したページの公開をしております。

つきましては、貴団体におかれましても、開催予定の研修情報を積極的に当センターにご提供いただくなど、是非この研修情報一元化の取組にご理解とご協力をお願い致します。

### <研修情報の一元化により期待される効果>

- 1) 各団体で開催している研修会の情報を一元化することにより、これまで一部の団体の中でしか知りえなかった研修会の開催情報をウェブサイトを確認できるようになることで、より多くの研修会への参加の機会を得ることが可能となります。
- 2) 多職種の参加を広く期待する研修会を開催するような場合において、他団体の研修会の開催情報を知ることで、開催日程の重複をできるだけ避けることができるようになります。
- 3) 参加を広く求める研修会の開催において、各団体等への広報の効果が得られます。

### <研修情報の情報提供についてご協力いただく際の留意事項>

- 1) ホームページへ掲載する条件について
  - ・ 函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者が所属している機関・団体等が主催または共催の研修会であること。
  - ・ 函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者が対象となる研修会であること。
  - ・ 公益性があり、営利目的ではない研修会であること。
  - ・ 函館市医療・介護連携推進協議会に参加している団体からの推薦がある研修会であること。
- 2) 情報提供の方法について
  - ・ 当センターあてに研修案内チラシ等を郵送していただくか、メールで送信をお願い致します。その際に「研修予定掲載申し込み書」内の紹介文やチラシには掲載されていないが、掲載してほしい項目がありましたら、ご記入のうえチラシとともにお送りください。
  - ・ 研修案内チラシ等がない場合は、『研修予定掲載申し込み書』にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお送りください。
- 3) 研修情報の公開時期について
  - ・ お申し込み後、7日以内にセンターのホームページ内に公開いたします。
- 4) その他
  - ・ 公開した研修会等の内容や参加申し込みについてのお問い合わせについては、当センターでの回答やお取次ぎは出来かねますので、各団体でのご対応をお願いいたします。

ご不明な点等ありましたら、当センターまでご連絡ください。

#### [お問い合わせ先]

函館市医師会病院内

函館市医療・介護連携支援センター

Mail : ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

電話 : 43-3939 FAX : 43-1199



名 称	第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方らしい生き方を実現していくため、加齢や疾病による影響から心身の状態が変化していく本人の不安や葛藤などに寄り添い、もしもの時に本人の想いを見逃さないように、支援に関わる一人ひとりが意識していけることを目的とする。</li> </ul>
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もしもの時のために本人の想いをどのようなタイミングや方法で聞き取りすると良いのかを考える。</li> <li>・もしもノートを活用しながらACPを行う際の留意点などを知る。</li> <li>・本人の想いを叶える支援の実現を目指し、医療・介護関係者が情報共有していく必要性を考える。</li> </ul>
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会 （函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター）
日 程	令和6年10月19日（土） 14：00～17：00（13：30～受付開始） ※研修終了後、関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換を目的とした懇親会を予定 （懇親会は状況により中止となる場合もございます）
会 場	函館国際ホテル 天平の間 （住所：函館市大手町5-10 電話：23-5151）
テ ー マ	「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>・講演</b>                              （座長）北美原クリニック 岡田 晋吾 先生                              （登壇者）                              【ACPとは】                              函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生                              【もしもノートについて】                              市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎 裕 先生                              【はこだて医療・介護連携サマリーと併せた活用法・事例】                              訪問看護ステーションフレンズ 統括所長 保坂 明美 様                         </li> <li> <b>・グループワーク【もしもノートに関する意見交換】</b>                              （進行）函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽 様                         </li> <li> <b>・意見交換・質疑応答</b>                              （座長）北美原クリニック 岡田 晋吾 先生                         </li> <li> <b>・情報共有ツール作業部会からのお知らせ</b>                              （情報共有ツール作業部会長）函館中央病院 事務次長 亀谷 博志 様                         </li> </ul>
参加対象	函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者
参加人数	300名（グループワーク参加240名、聴講のみ60名） ※定員になり次第、締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
参加費用	無料（懇親会参加費用は別途掛かります ※金額は4,000円程度）
備 考	アンケート実施

タイムテーブル【案】

資料7

令和6年10月19日(土) 14:00~17:00(開場 13:30)

●総合司会：水越 英通 様 ●グループワーク進行：松野 陽 様

●座長：岡田 晋吾 先生(講演・グループワーク発表・意見交換)

●開会挨拶：未定 ●閉会挨拶：未定

時刻	タイトル	主な講師	時間
13:30	開場	総合司会	—
14:00	開会挨拶/趣旨説明	総合司会	5分
		〇〇先生	
14:05	《シンポジウム開始》/座長挨拶	座長 岡田先生	5分
14:10	講演①【ACPとは】	講師 川口先生	20分
14:30	講演②【もしもノートについて】	講師 山崎先生	15分
14:45	講演③【はこだて医療・介護連携サマリーと併せた活用方法・事例】	講師 保坂様	20分
15:05	休憩	総合司会	10分
15:15	ロールプレイ動画の説明 個人ワーク, グループワークの説明	GW 進行 松野様	5分
15:20	ロールプレイ動画(視聴)		10分
15:30	個人ワーク		10分
15:40	グループワーク		45分
16:25	グループワーク発表・意見交換~総評	座長 岡田先生	30分
16:55	閉会挨拶/アンケート依頼/懇親会案内	総合司会	5分
		〇〇先生	
17:00	アンケート記入, 会場移動(懇親会出席者)	—	—
小計			180分
17:30	懇親会	懇親会司会	90分
19:00	(終了)		
合計			270分

## 役割・個人ワーク・グループワークの流れについて（案）

## ○集合時間

13:00 ~ 総合司会，GW 司会，懇親会司会，多職種連携研修作業部会メンバー  
順次，ファシリテーターと各グループの司会者との顔合わせ

## ○ファシリテーターのペア

- ペア① 鹿角様，京谷様
- ペア② 阿部様，橋浦様
- ペア③ 川村様，白川様
- ペア④ 齋藤様，益井様
- ペア⑤ 室田様，山上様

## ○役割分担

総合司会 水越様

GW 座長 松野様（ツール部会メンバー）

懇親会司会 阿部様（総合司会サポート）

会場誘導係 4名 川村様，京谷様，白川様，橋浦様

マイク係 3名 鹿角様，室田様，山上様

カメラ係 2名 齋藤様，益井様

## ○ファシリテーターから各グループの司会へ渡してもらう物

- ・ファシリテーターとグループ司会者との顔合わせ
- ・司会用の「グループワーク進行上のお願い」
- ・グループワークのルール

## 個人ワークの進め方

### ○個人ワークのねらい

- ・本人としても支援者の立場としても ACP のことを考えることができる

### ○個人ワークの内容

- ・『もしもノートはこだて』のステップ1～4迄を実際に自分事として考えて、もしもノート記入シートに書いてもらう
- ・もしもノート記入シートの裏面には、もしもノートはこだての各項目をやってみての（１）感想、（２）患者・利用者とのように対話するかを書いてもらう

※聴講のみの方も個人ワークを行ってもらおう

## グループワークの進め方

### ○グループワークのねらい

- ・もしもの時のために本人の思いをどのように聞き取りすると良いのかを考える
- ・多職種による発想や気付きの違いを知る
- ・明日からでも自分たちができそうなことを考える

### ○グループワークの内容

- ・（テーマ1）感想  
（個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等）
- ・（テーマ2）明日から自分たちができそうなこと  
（個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）
- ・上記のテーマ1・2について司会者を中心に進行してもらい、書記が模造紙に記入する
- ・発表グループは、テーマ1・2及び質問があれば話してもらう

### ○多職種でのメンバー構成、各グループに司会者をあらかじめ設定する

### ○グループワーク参加者～●●●名（●人掛け×●●テーブル）

## ○タイムテーブル

15:15 (5分)	<p>①ロールプレイ動画、個人ワーク、グループワークの流れの説明：松野様 ②グループ内での自己紹介をするにあたっての説明</p> <p style="text-align: right;">：1～2分程</p> <p>&lt;各グループ内、自己紹介&gt;：4分（1人20～30秒程度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己紹介（所属先、職種、氏名）</li><li>・松野様が引いたサイ五郎さんのカードに書いてある質問について一人一言ずつ話してもらう</li></ul>
15:20 (10分)	<p>&lt;ロールプレイ動画（視聴）&gt;：10分（視聴前の説明：松野様）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・出演者紹介（支援者役：宮城様／本人役：室田様）</li><li>・動画は、もしもノートはこだてに沿って聞き取りしていることを伝える</li></ul>
15:30 (10分)	<p>&lt;個人ワーク&gt;：10分（個人ワークの説明：松野様）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個人ワークの手順を説明</li><li>＊「もしもノート記入シート」は回収しないことを伝える</li><li>＊グループワークに参加する人は、「もしもノート記入シート」の裏面にある（1）と（2）をグループの中で共有することを伝える</li></ul>

<p>15:40 (45分)</p>	<p>&lt;グループワーク&gt;：45分（グループワークの説明：松野様）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会は、予め事務局で決めさせてもらっていることを伝える</li> <li>・書記、発表者を決めてもらう</li> <li>・テーマの説明</li> <li>・先に個人ワークで考えたことをそれぞれ報告しながらグループワークしていくことを伝える</li> <li>・グループワーク開始</li> <li>・（テーマ1）感想 （個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等）</li> <li>・（テーマ2）明日から自分たちができそうなこと （個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）</li> </ul>
<p>16:25 (30分)</p>	<p>&lt;グループワーク発表・意見交換～総評&gt;：30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に打ち合わせた順番で発表。詳しくは、（発表グループの選定を参照）</li> <li>・発表内容は、テーマ1・2及び質問 岡田先生の進行で、発表内容に対し各シンポジストからコメントをもらう</li> <li>・意見交換 この場で是非聞きたいという質問のある人に挙手してもらい、その質問に各シンポジストからコメントをもらう</li> <li>・総評 座長：岡田先生 各シンポジスト：川口先生、山崎先生、保坂様、松野様 &lt;情報共有ツール作業部会からのお知らせ&gt;</li> <li>・亀谷様からサマリーのマイナーチェンジについて説明してもらう</li> </ul>

○模造紙と模造紙半分の用紙のイメージ

- ・模造紙には、（テーマ1）、（テーマ2）について記入する。
- ・模造紙半分の用紙には、シンポジストや座長に聞きたいことを記入する。

<模造紙>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>「地域でつなげよう ACP の輪～この地域での ACP 連携を目指して～」</p> </div>	
<p>（テーマ1）</p> <p>感想（個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>（テーマ2）</p> <p>明日から自分たちができそうなこと（個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

<模造紙半分の用紙>

<p>質問用紙</p> <p>シンポジスト、座長に是非、聞きたいことがありましたら、こちらに記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
---

## ○ファシリテーターの役割

### 【テーマ1】止まっているグループ、または発言ができていない人がいたら介入

- ・個人ワークを実施してみてどうだったか（感想）、講演を聞いての率直な感想を引き出す。（感じたこと、心にグッと響いたこと等）
- ・こんな感想で良いのか？と思うようなことでも発言の機会をもってもらおう。

### 【テーマ2】止まっているグループ、または発言ができていない人がいたら介入

- ・もしもノート記入シートの裏面にある（2）でどのように考えたか
- ・明日からでも自分たちができそうなことは何かを考えられるようどんな事だったら始められるのか、明日からできることに限らず、少し先（将来）に向けてできそうなことでも良いので話してもらえるように促す。  
（どんな場面で意識的に利用者や患者と関わって本人の想いを聞けるか、ACPについての勉強会を職場で行ってみる、もしもノートはこだてやサマリーの応用ツール<sup>⑱</sup>の活用等）
- ・今、自分たちができていることに気づく機会でもある事を伝える。（例えば、患者又は利用者とは何気ない会話の中に本人の想いが隠れている、それらをもう既に聞いていることもあるはず、それをこの先、どう次のアクションにつなげるか等）
- ・職種によっては経験の無い場面の話が出て参加できるように声掛けする。  
（他の人の話を参考にイメージを膨らませてディスカッションに入ってもらおうよう促す）

### 【全体として気をつける事について】

- ・感想は個人が思ったり考えたりすることであるので、その感想に批判や批評、指導をするような発言があった場合は適切に介入する。
- ・専門用語のレクチャーなどが長く続くような状況があった場合は適切に介入する。（「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「その話題（疑問）で聞きたいことが出た場合は、全体の意見交換の時間に確認してみてくださいはどうでしょう」等）  
例）身体に負担がかかる治療とは
  - ・点滴・中心静脈栄養・経管栄養・胃瘻・昇圧剤、強心剤・輸血・人工透析・人工呼吸
  - ・気管挿管・気管切開・人工呼吸器・除細動・心臓マッサージ
- ・特定の人が話し続けるという状況があった場合は適切に介入する。
- ・特定の職種・事業所等の批判や批評にならないように配慮する。



### 【発表グループの選定】

- ① ファシリテーター●～●人がペアになってもらい●～●グループを担当します。
- ② 各担当グループのうち、ねらいに沿った話ができているグループや、ぜひ全体で共有したいと思われるグループをペアのファシリテーターと相談して1グループを選定する。
- ③ 16:15（グループワーク終了10分前位）になったらファシリテーター席に集まり、選定グループを報告（全5グループになる予定）
- ④ ファシリテーターと座長、センター間で相談して、発表してもらう順番を決める。（時間があれば全5グループ、時間がなければ3グループ程度）

※全体で共有した方が良くと思われる質問等があった場合は、意見交換の場面で対応する旨を伝え、発表に当たったグループは、シンポジスト、座長に聞きたいことについても話してもらう。当たらないグループは、後日センターのホームページにて掲載する旨伝える。

### 【見 本】

○ファシリテーター

ペア： \_\_\_\_\_

選んだグループ番号： \_\_\_\_\_

選んだポイント： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## グループワーク進行上のお願い

### ○ファシリテーターと司会者との顔合わせ

- ・各グループを担当するファシリテーターがいます
- ・司会者が進行する中で困ったらファシリテーターへ声を掛けてください。

### ○テーマ

#### (テーマ1) 感想

(個人ワーク(1)について、シンポジストの話しを聞いての気づき等)

#### (テーマ2) 明日から自分たちができそうなこと

(個人ワーク(2)について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等)

### ○タイムテーブル

15:15 (5分)	<b>&lt;各グループ内、自己紹介&gt; : 4分 (1人20~30秒程度)</b> ・自己紹介(所属先, 職種, 氏名) ・司会者の松野様が引いたサイ五郎さんのカードに書いてある質問について一人一言ずつ話す
15:20 (10分)	<b>&lt;ロールプレイ動画(視聴)&gt; : 10分</b>
15:30 (10分)	<b>&lt;個人ワーク&gt; : 10分</b>
15:40 (45分)	<b>&lt;グループワーク&gt; : 45分</b> ・書記, 発表者を決定する ・司会者の進行のもと, 先に個人ワークで考えたことをそれぞれ報告しながら(テーマ1)と(テーマ2)についてグループワークする ・書記は同じような意見をまとめたり, 追加で出た意見等を模造紙に追記する
16:25 (30分)	<b>&lt;グループワーク発表・意見交換~総評&gt; : 30分</b> ・座長進行のもと発表グループに選ばれた場合は, (テーマ1)と(テーマ2)ともし質問があった場合は, それも合わせて発表する ・発表グループに選ばれなかったグループも質問がある場合には挙手する

### ○グループワークの進行について \*別紙「グループワークのルール」参照

- ・グループ内で話しやすい雰囲気となるように別紙「グループワークのルール」に記載されている内容を参考にして進めてください。常にこのルールを意識できるようにテーブルの上に置いてもらったり, 口頭で伝えたりしてください。
- ・グループ内で1人の方が話し続けているようであれば声掛けをしてあげてください。(「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「他の方のご意見も聞いてみましょう」等)

### ○模造紙と半分の模造紙について

- ・模造紙には, (テーマ1)と(テーマ2)について書記に記載してもらいます。
- ・半分の模造紙には, シンポジスト, 座長に是非, 聞きたいことがあった場合に記載してもらいます。

## グループワークのルール

○グループワークを円滑に進めるために下記のことを心掛けましょう。

### テーマに沿って話しましょう

話が脱線しても

必ず（テーマ1）と（テーマ2）に戻りましょう

### みんなで話しましょう

「こんな事話していいのかな」と思わずに

どんどんお話してください

### 経験の有無に関係なく

### イメージしてみましょう

もしも自分だったら、自分が支援する

としたらなどを想像してみましょう

### 批判・否定しないように

### しましょう

グループ内の人の発言にネガティブな

判断をしないようにしましょう

# 個人ワーク・グループワークについて



個人ワークを行ったあとグループワークを行います。  
聴講のみの方も個人ワークを行ってみてください。

1. 個人ワーク（10分）：『もしもノートはこだて』の各項目について、個々で考える時間です。

## ○個人ワークの手順

- ・『もしもノートはこだて』のステップ1～4迄を実際に自分事として考えて、もしもノート記入シートにお書きください。

＜注意＞記入欄を埋め込むことが目的ではありません。  
各項目について自分だったらどのように思い、何を選ぶか？  
また、それを選んだ理由を考えながら書き進めてください。

- ・もしもノート記入シートの裏面には、もしもノートはこだての各項目をやってみての（1）感想、（2）患者・利用者とのように対話するかをお書きください。

## 2. グループワーク（45分）

（テーマ1）感想

（個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等）

（テーマ2）明日から自分たちができそうなこと

（個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）

（テーマ1）と（テーマ2）について、グループ内で共有・ディスカッションを行います。

ご質問等がございましたらファシリテーター等にお気軽にお声掛けください。



# もしもノート記入シート



もし生きることができる時間が限られているとしたら、わたしが大切にしたいことは下記にチェックした項目です。  
(いくつでもチェックしてみましょう)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 家族               | <input type="checkbox"/> できる限りの治療が受けられること |
| <input type="checkbox"/> 友人               | <input type="checkbox"/> ひとりの時間が持てること     |
| <input type="checkbox"/> 仕事や社会的な役割        | <input type="checkbox"/> 家族の負担にならないこと     |
| <input type="checkbox"/> 趣味               | <input type="checkbox"/> その他              |
| <input type="checkbox"/> 身の周りのことが自分でできること | [ ]                                       |
| <input type="checkbox"/> 経済的なこと           |   |

選んだ理由



もしわたしが自分の意思をはっきりと示せなくなり、そのときに生きることができる時間が限られているとしたら、ここに記したような治療を希望します。  
(今の気持ちにもっとも近いものを選んでみましょう)

- 身体に大きな負担がかかっても、できる限り長く生きられる治療
- 身体に大きな負担がかかる処置は希望しないが、そのうえで少しでも長く生きられる治療
- 延命的な治療は行わず、できる限り苦痛を緩和して自分らしい時間を過ごすこと
- 今はわかりません  その他 ( )

選んだ理由



わたしが人生の最期を過ごしたいと希望する場所をここに記しますので、尊重してください。(今の気持ちにもっとも近いものを選んでみましょう)

- 自宅
- 今まで治療を受けていた病院 (医療機関)
- ホスピスや緩和ケアを中心に行っている病院 (医療機関)
- 老人ホーム、介護施設など
- 今はわかりません  その他 ( )

選んだ理由



自分で自分のことを決められなくなったときに、あなたに代わってあなたが希望する医療・ケアを伝えてくれる人 (あなたの思いを推定できる人) を記入してください。

あなたの思いを推定できる人を記入

選んだ理由

## <ステップ1～4までをやってみて>

(1) 実際に自分ごととして考えてみた感想

(2) 自職種の立場で患者・利用者の支援をしたらどのように対話するか？